

共生社会の実現に向けた生涯学習の充実

宮崎県教育委員会では、令和2年度より、文部科学省の委託を受け「共生社会の実現に向けた生涯学習支援に係る実践研究事業」に取り組んでいます。学校卒業後の障がいのある人たちの生涯を通じた多様な学びの機会や家族・関係者を含めたつながりの場を創出・拡充し持続可能なものとしていくために推進協議会を組織し、調査研究、実践研究及び普及啓発に取り組んでいます。



つながる新聞

～共に学び共に生きる社会を目指して～

行政と民間団体が連携した持続可能な取組を目指すコンソーシアムの形成

コンソーシアムとは、「共同事業体」という意味。企業や組織、政府機関などからなり、ひとつの事業を遂行するために集まった団体、共通の目的に沿った活動を行う団体を指します。

志和池地区で 自然遊びとフットパスを体験!!

ネイチャーゲーム R4.11.5

「ネイチャーゲーム」は、1979年米国のナチュラリスト ジョセフコーネル氏により発表された活動で、様々な感覚を使って自然を直接体験し、自然への共感を育む活動です。現在120種類以上の活動があり、四季折々に子どもも大人も一緒に自然とふれあうことができます。

障がい者18名、保護者2名、事業所職員4名、どんぐり村2名 ボランティア17名、幼児1名(参加者:44名)



参加者感想(なのはな村さん、いろはの森さん)

- 動物当てゲームが難しかった
●動物当てゲームをしている時に、相手の方に質問するのが恥ずかしかった
●葉っぱを探し出すのに苦労したけど、楽しかった
●ネイチャーゲームがおもしろくて、木の説明等もよかった
●ネイチャーゲームは初めての体験でしたが、その魅力に引き込まれ、熱中してプレイしている自分がいた
●自然の中で食べるご飯がとても美味しかった
●豚汁がとても美味しく、おかわりもしました。民生委員の方々の愛情をたくさん感じた
●他の施設利用者の方々と触れ合えたことが良かった

中学生感想(志和池中学校)

- 最初に誘われた時はあまりやる気ではありませんでしたが、やってみると意外と楽しかったです。障がい者との交流は楽しく、貴重な時間を過ごせました。また自分が住んでいる地域なので、いろいろな人に知ってもらってとてもうれしいです。ゆくゆくは障がい者との交流をもっと増やしていきたいと思う
●これまでにないことを経験し、障がいのある人とは歩きながら話すことはできなかったが、案内や安全を確認したりしてしっかり貢献できて(そう思った)よかった
●志和池を歩いて回りながら、「すごい、きれい」と言ってくださったことが志和池に住んでいる者として嬉しかった

ちよこっとボラフェス R5.2.5

みやこんじょボランティアフェスティバルでも展示コーナーで自然遊びとフットパス体験の紹介をしました！ここでは、体験に参加してくれた志和池中学校の生徒さんが、活動の説明とチラシを配布してくれました。



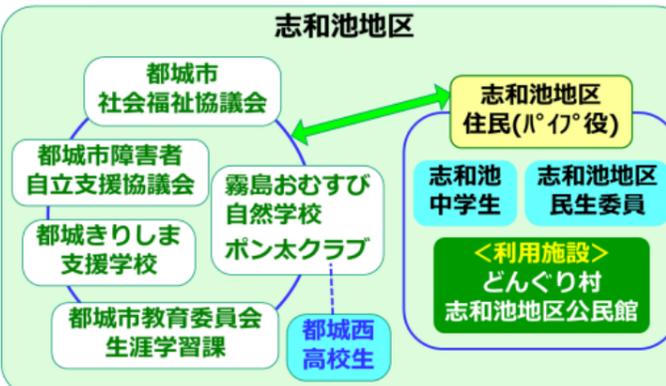
ボランティア講習会 R4.10.26

都城西高等学校インターアクト部の皆さんと、フットパスや障がい者さんとの関わり方や支援について学習しました。



地域コンソーシアム
みんなが「つながる」
地域コンソーシアム
ネイチャー、フットパス、どんぐり村自然ゲーム、志和池地区探検

事業に関わった人たちとのつながり



昼食交流会



楽しい雰囲気の中で調理の準備ができたこと。障がい者の方との交流の楽しさや完食となった喜びを味わえたこと。色々な学びを得たこと。事業継続への期待。障がい者の方を知るよい機会になったこと等々。調理の手伝いを通じ、楽しさと共に有意義な経験となったことを実感。

「フットパス」はイギリスを発祥とした『地域に昔からあるありのままの風景を、心と体で感じながら、楽しく歩く(foot)小径(path)』のことです。森林や田園地帯、歴史的な景観、まち並みなど、道の途中には様々な出会いが待っています。

障がい者12名、保護者3名、事業所職員4名、どんぐり村2名 ボランティア34名(参加者:55名)
志和池市民広場～科長神社～地区公民館～どんぐり村(4km)



参加者感想(いろはの森さん、さつき福祉作業所さん)

- すごく楽しかった
●歩くのが気持ちよかった
●疲れた。なんとか最後まで行けた
●どんぐりを植えて、こんな木になるのか～と思った
●知らない場所を探検感覚で歩いたり、歴史などにも触れることができ楽しかった
●高校生が側にいてくれて嬉しかった
●学生ボランティアの方と色々な話ができて新鮮だった
●親子2人で知らない場所を歩くのが怪しまれる(飛び跳ねたり、声を出す)けど、団体だと怖くない(受け入れてもらいやすい)
●利用者さん(障がい者)が、普段接することのない高校生と楽しそうに会話をしながら最後まで歩いたので、すごいなあと感激した(最後まで歩けるか不安な方もいたので)
●手作りのおにぎりや豚汁が美味しくて、帰り道も元気に歩けた

高校生感想(都城西高校)

- 初対面の方と会話するので少し緊張していたが、いざ話してみるといろんな話題がポンポン出ておもしろかった
●私は将来福祉系の仕事に就きたいと考えているので障がいのある方とお話しをするのもすごく参考になった
●いつもは歩かない道を歩いたり、地域の方と挨拶したりするのがすごく楽しかった。また、初めましての方とお話ししながら歩いたので最初はとても不安でしたが、話も弾んで冗談も言えるようになったのでとてもうれしかった。歩き終わった後の昼食もとてもおいしくてみんなで楽しく食べられた。参加して本当によかった！
●私は〇〇さんとペアになってフットパス体験に参加した。歩いている途中で変わった植物の名前や昔ながらの言葉の言い回しなど、私の知らなかったことをたくさん教えていただいた。私の中でも貴重な経験になった。昼食の時間は「いっしょに食べよう」と声をかけていただき、温かい気持ちになって嬉しかった。来年もぜひ参加したいと感じた

◆ハロー市役所元気講座(都城市教育委員会 生涯学習課)
※市民の方が主催する学習会に市の職員が講師として出向き、市政や市のさまざまな制度について分かりやすくお話しする出前講座です。
https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/soshiki/49/4780.html

◆ハロー元気講座(都城市教育委員会 生涯学習課)
※企業、組合、公共機関等の職員が講師となって、市民が主催する学習会などに出向き、専門的な知識を生かした講座や実習を無料で行います(材料費等が必要な場合あり)。
https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/soshiki/49/4779.html

自然遊びやフットパスについてのお問い合わせ先

- ◆霧島おむすび自然学校(壹岐) ikiiki-taiken@nifty.com
◆子どもと家族・関係者の集まり「ポン太クラブ」
ponta.miyazaki.2006@gmail.com (外山)
http://ponta-miyazaki.sakura.ne.jp

今後の活動情報等はポン太クラブHPに掲載予定です。



ひなたのつどい
つながる！
令和5年1月21日(土)
13:00～16:40
オンライン

令和5年1月21日(土)に行われました「ひなたのつどい(共生社会コンファレンス)」の動画配信を御覧いただけます。また、令和4年12月4日(日)に放送された特別番組「つながる ～共に学び共に生きる社会を目指して～」も同様に御覧いただけます。
https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/symbiotic_society_index.html

◎民間団体×行政
霧島おむすび自然学校とポン太クラブが都城市生涯学習課と協働して行った都城市での取組についても紹介されています。

●今回、ご協力頂いた皆さんです●

- ◆どんぐり村子ども自然塾(特定非営利活動法人どんぐり1000年の森をつくる会)
https://www.donguri1000nen.jp/
◆特定非営利活動法人いろはの森 http://irohanomori.net/index.html
◆社会福祉法人なのはな村
https://www.nanohanamura.com/
◆特定非営利活動法人さつき福祉作業所
◆宮崎県立都城西高等学校 https://tonishi-h.com/
◆都城市立志和池中学校 https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4308/